

事業実績シート（研修及び調査・研究）

1 事業の概要

協会事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 研修機関派遣事業（ <input type="checkbox"/> 市町村アカデミー <input type="checkbox"/> 国際文化アカデミー <input checked="" type="checkbox"/> NERG） <input type="checkbox"/> 地方4団体研修及び調査・研究事業			
自治体(団体)事業名	職員研修事業			
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	平戸市	総務部 人事課	永田栄二	0950-22-4111
事業期間	開始年	平成 23 年 月 日 (年日)		
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他[]			
実施期間	(開始日)平成 29 年 4 月 1 日 (完了日)平成 29 年 8 月 2 2 日			
委託した場合の委託内容	委託先機関名		担当者名	連絡先(TEL)
	(委託内容)			
研修及び調査・研究の目的 ※実施前に予想していた目標・目的を記載ください。	対象(誰を・何を)		目標・目的	
	平戸市職員		多様化・高度化する市民意識やニーズに的確に対応するため、専門的知識・能力を身につけ、創造性と効率性ある行財政運営ができる職員を育成する。	
研修及び調査・研究の具体的内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように記載してください。	地方分権型社会の構築に向けて、多様化・高度化する市民意識やニーズに即した行財政運営が推進できるよう、公益財団法人長崎県建設技術研究センターが実施する専門的研修への派遣研修を通じ、本市職員の能力の向上を図る。			
研修及び調査・研究の背景、これまでの経緯及び現状	(事業開始の背景)			
	地方分権型社会構築に向けて、多様化・高度化する市民意識やニーズに即した行財政運営が推進できる職員の育成が必要となっている。			
(経緯・現状)				
従来、職員の資質向上を図るとともに、自ら参加して識見を深め各種行政課題に積極的に取り組もうとする意欲ある職員を育成する観点から、庁内イントラネットを利用した公募を実施している。				

事業実績シート（研修及び調査・研究）

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算					
事業費（円）		0	21,820	25,120					
（財源内訳）	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								
	市町振興共同事業助成金	0	14,545	16,744					
	一般財源	0	7,275	8,376					
目標・目的指標	指標名		指標設定の考え方		単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	公益財団法人長崎県建設技術研究センター受講職員数 4名	定期的に受講する観点から、毎年度3名予定	人	目標	0	3	3	
					実績	0	4	4	
					目標達成率（%）	0	133.3	133.3	
	②				目標				
					実績				
					目標達成率（%）				

3 事業の振り返り

必要性の点検	（1）実施することによるメリット	
	（内容、程度等）	
	<p>現在、「新しい時代に対応できる逞しい自治体」に成長していくため、地方分権を基本とした自己決定、自己責任という行政システムを確立し、地域の実情やニーズにあった個性的で多様な行政の展開をめざす「分権時代を拓く市役所」の構築、さらに市民満足度の高いサービスを最少のコストで提供する協働型自治体を目指し、市民が望む、市民に信頼される行政の実現を目指している。</p> <p>この平戸市の将来像を実現するためには、職員の意識改革と職員育成が重要であり、職員が高い能力を備え、常に「市民のために何ができるか」を念頭において職務に向き合うことが必要であり、その実現を支える人材を確保し、育成することが重要となっている。</p> <p>本研修参加により、地域の実情に的確に対応できる実践的な能力を高めることができる。</p>	

事業実績シート（研修及び調査・研究）

4 有効性の点検、実現性の点検

有効性の点検	(1) 目標（目的）指標の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標を下回った	
	(2) 実施前、想定していた目標・目的が達成できた理由またはできなかった理由 本年度は、出前講座として市内での研修開催があり職員を受講させることができた。今後も地元での開催の場合は積極的に受講させ、また庁内イントラネットでの呼びかけを行い研修参加者を確保していきたい。	
実現性の点検	(1) 事業への反映 <input checked="" type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できる <input type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できない	(具体的内容) 研修で受講した内容を実務で実践可能である。
	(2) 公共性の評価 本研修及び調査・研究を通じて <input checked="" type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できる <input type="checkbox"/> 住民へ利益を将来的に還元できる <input type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できない	(具体的内容) 研修で受講した内容を実務で実践することにより、住民サービス等の面で還元可能である。

5 今後の方向性

必要性の点検から 実施予定時期	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了（完了）	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
有効性の点検から 実施予定時期	<input type="checkbox"/> 目標・目的未達成	<input type="checkbox"/> 目標・目的達成	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実現性の点検から 実施予定時期	<input type="checkbox"/> 事業へ反映	<input type="checkbox"/> 事業に反映できない	<input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
具体的内容	本市職員の能力向上を図るため、公益財団法人長崎県建設技術研究センターが実施する専門的研修への派遣研修を引き続き行い、多様化・高度化する市民意識やニーズに即した行財政運営に寄与する。 財政状況が厳しい中、本市独自での運用は非常に厳しく、事業継続の必要がある。				